

タウン誌です。ご自由にお取りください

2018年秋・54号

信条・世に媚びず・枠にとらわれず
・言いたいことはハッキリ言おう

発行/吉田 進

携帯 090-3168-1063

FAX 072-863-0605

〒110-0015

東京都台東区東上野 3-26-10 FC204号

URL : <http://www.kawaraban.ne.jp/>

E-mail : info@kawaraban.ne.jp

Life Crossing

「乱れ打ちかわら版」あらため/季刊



崩壊したベルリンの壁にあった独裁者のキス・シーン。ソ連ブレジネフ書記長と東独のホーネッカー国家評議会議長。今、世界に壁をつくる米トランプ大統領と、その親友日本の安倍首相は、こんな姿になるのかな。壁画を見てキスする女性2人がおもしろい。

CONTENTS

世の中・社会・文明・歴史・家族・自分のことを書いています。

天災は人災 防災第一——その時政治は……………	2
往きはよいよい 成果はどうか? ……………	3
映画『シャルロットすさび』10月6日より上映開始…	4
死期を迎えつつある母へ	
母よ、お母さん、ありがとう ……………	5
種子を守ることは、命を守ること ……………	6
ポール・ニザン (Paul Nizan)	
— 青年達と同世代であり続ける思想家 — ………	7
新潟県知事選挙を振り返って	
衆議院議員 菊田まき子…	8~9
野党の要 立憲民主党国会対策委員長	
辻元清美衆議院議員に聞く ……	10

憲法と改憲を考えるシリーズ5	
わからないまま憲法改正国民投票をしてよいのか…	11
若者のSNS化 ……………	12
過ぎゆくものたち 時と共に町も人も変わった…	13
恭子の日記⑮	
平和を作る ひとこまの記憶 ……………	14
化粧 ……………	15
LIFE CROSSING余録……………	15
編集後記 ……………	15
日本文化海外発信で	
みんなが潤う楽園を作ろう! ……………	16

(創刊 2001年 / 季刊)

天災は人災 防災第一——その時政治は



水が引けば街中家財のごみの山 (岡山県倉敷市真備町)



高梁川支流の小田川決壊



高槻市寿栄小学校の壁倒壊で死亡した三宅璃奈さん(9)を悼む

災害は忘れないうちにやってくる

6・18大阪北部地震(震度6弱)から、7月には西日本中心の未曾有の集中豪雨による水害、土石流(863カ所)で、死者220人、安否不明12人(7・23日現在)を出した。被害を大きくしたのは、いずれも不法建築、その改修改善を放置、遅滞した行政の怠慢による。

そして連日、かつてない40度前後の熱波が日本列島を襲い、災害復興を阻む。熱中症、死者多数で、多くが天を仰いで「これも地球温暖化のせい」と嘆くが、それも人災。私たちは世界の、日本の政治に目を向けなくては。しかし――。

膿出すと言ってる人がウミの親——という川柳に笑った。考えた。「モリカケはウソ八百のカケソバで消化しまへん食べられまへん」と答えた。

安倍首相自身の森友・加計学園の忖度消しで、子ども騙の賭なんて、もううんざり。「恥を知れ」と言いたい。一方、災害復興が急務な最中、安倍政権は、党利党略丸出しの「参院6増」と、カジノ(バクチ)を含む統合型リゾート(1R)法を強行可決した。

73年前の戦後、われわれの先輩たちは焼け野が原の大地に飢えと闘いながら「国敗れて山河あり」と、働いて働いて今の社会を創った。だが今、山河も政治も荒れ、国民の多くは、かつての気概と誇りを失っている。「政治が悪いは、選挙民が悪い」を肝に銘じたい。

往きはよいよい 成果はどいつか?

東京都江東区 三田 栄考

6月12日の夜の番組で評論家は「満足度トランプ氏が70点、金委員長は90点」と判定した。恐れながら筆者なら「安倍さんの満足度は40点」かな。だって拉致は具体的には記載も表明もされず、大統領から「資金は近い日韓中が負担」、大嫌いな北とやりたくもない直接対話から国交回復を頼む糸口を探さないといいけない。(北から日本は拉致ばかり言うから孤立している)とまで攻撃されているから交渉は難航するかも) 大好きな軍事力で威圧する道は閉ざされ、下手すると在韓米軍の縮小撤退まであるかも知れない。昨年なのしりあった状況からすると大変な変わりようだ。米国第一と暴走して人の意見を聞かないトランプと、若くて未熟な独裁者と、おまけに安倍首相との3点セットとでは戦争が、もしかしたら核爆弾が日本に落ちないかとかかなり心配した。トランプ氏が言うように「金委員長は賢

くて話ができる男」なら両者にこの点では敬意を払おう。それに文在寅韓国大統領にも



感謝をしたい。トランプ氏にノーベル賞はまだ早いし、独裁者にあげるのは問題だが文在寅氏ならOKではないかな。バクウネ前大統領領が続いていたら南北首脳会談もなかったらう。

70年間の対立が3ヶ月で解決するわけがない。時間をかけて協議することだ。

多くの交渉は、ましてや外交交渉は、いわんや米朝の複雑、困難、高度のやりとりは

一回の会談で決着できるものではない。そう、いかに事前に事務方が交渉を重ねていて



も。両首脳が会っただけで成功とまではいわないが、決裂せずに今後の交渉の道を残したことが大いなる成功だ。

それにしても安倍政権は北の脅威をタネに国民を煽り憲法9条の平和主義を放棄し、

国難と称して軍事優先で選挙に勝利した。野党は対抗策を見出されず、日朝国交回復の

平和外交の主張も聞けなかった。「対話のための対話は意味が無い」「最大限の圧力」

しか言わなかった安倍首相がトランプに、「拉致も入れてよ」と懇願するしかなかった。12日以後にやっと日朝との話し合い解決に向けて動き出した。

しかし油断は大敵。北のバックに中国・ロシアの陰がちらつく。

日本は朝鮮の植民地化を謝し 核・拉致難問の重い扉を叩け

河野洋平元自民党総裁が13日に都内でこのように講演している。「日本の生命財産を他国の大統領に頼んでおいたというのでは日本のリーダーとしての責任は果たせない。自分で北朝鮮に直接言わないといけない」更に1910年に日本が朝鮮半島を植民地化した経緯にも触れ韓国に対して行った経済援助と同様の対応が北朝鮮にも必要だと強調。

「拉致は大事だがその前に国交正常化をやるうとか、植民地問題の処理はこれで終わりだということまでやらないといけない」と述べた。現元の自民党総裁の本旨の違いを汲み取りたい。

拉致はこの時代断じてゆる

されるものではない。核は一瞬にして何十万何百万人を殺す悪魔の兵器。一方、拉致は「人の命は地球より重い」という人間の尊厳を奪う悪魔の所業。北朝鮮は、今回の米朝和平交渉に際し、「拉致は解決済み。日本はそのことを主張し、和平交渉を妨害している」と非難するが、それも悪魔の声なのか。

しかし、われわれは立ち止まって、かつて日本の帝国主義が朝鮮を植民地化し、共に無謀な戦争へかりたてた歴史を大反省せねばならない。その前提で、核、拉致の重い問題も解決する途が開けてくると思う。

われわれは、まず歴史からその教訓を学ばなければならぬ。12日にトランプ氏が「安倍首相にとって非核化に次いで重要な拉致」と正しいコメントをした。確かに一度の会談では解消されなかつたが、これで北朝鮮のミサイルや核の脅威は日本や世界にとつて随分と遠のいたと言える。互いに話し相手になれると認め合った両者が今後おめおめと核戦争に突入することとはあるまい。(7月18日記)

本誌に毎号寄稿している在仏30年の独舞家でもある岩名雅記氏の新作映画が10月からいよいよ日本で上映開始だそう。彼、岩名雅記は昭和天皇がまさに崩御せんとする1988年末、日本脱出を試みたひとりの舞踏家、平成日本の30年を全く知らずに、時代遅れ、時代錯誤、純潔／純粹というも愚か、エロや神話がまだ藝術であった時代を信じて171分の「世界論的」長編劇映画を作ってしまった。さてこの映画、空白の平成を見事「上書き」出来るであろうか、というわけですね。その監督から映画づくりの苦勞話、裏話を寄せていただいた。

映画『シャルロットすさび』

10月6日より上映開始

60歳になって若い頃からの夢だった映画づくりに挑戦、今回は4作目です。2015〜16年にかけてパリ、ノルマンディ、東京、福島で合計7週間の撮影、昨年末やっと上映版が完成した私の長編劇映画第4作が、今年10月東京新宿のK'sシネマを皮切りにいよいよ日本上映開始となります。

映画といえば壮大な規模／予算が想像されがちですが私たちインディーズ映画の作家は皆さまからのクラウドファンディング（＝CF*）以外は全て個人の持ち出しで、そこそ爪に火を灯しながらの作業です。それに伴っていろいろ

ろな困難が発生しました。経済の問題は先ず初めにあるのですが、それ以上に人間関係や個人々人の心理の変化に伴う亀裂が最大の困難を作ります。

日本のスタッフ／キャストがフランスに来て仕事をするということの難しさは環境の変化、言葉の問題、食生活から始まって様々な局面に現れて来ます。日本人の主演女優さんが監督（私）との軋轢で何度も出演拒否をしたり、一週間にわたる「引きこもり」があったり現場は相当混乱しました。

何とかフランスでの撮影が終わり、東京／福島での撮影



<http://www.iwanabutoh.com/film/susabi/indexJP.html>

たのですが突然彼から絶交を言い渡されました。その原因は未だ不明ですが監督の知らないところでスタッフ間のいさかいがあったようなのです。東京での撮影が終わったときフランス人の録音チーフJが「この映画はマサキの映画でもあるけどみんなの映画でもあるんだよ」と全員に諭すように言ってくれたのが大きな救いでした。総じて私のように30年も外国に暮らしている日本人は（大変失礼ながら）日本だけに住んでいる日本の方々についてしばしば考えざるをえませんでした。著名な社会学者Hが「国際的

あるとは日本に片足を、もう一方の足を海外にかけて立つことだ」と上手いことを言っていたのですが全くその通りだと思っております。

否定的なことばかりを連ねてしまいましたが、往々にして困難な現場をくぐり抜けた映画は出来がいいとか——（笑）。えつ、ストーリーですか？話しは現代のパリ。自身のアート活動に深くのめり込んだ為に前妻スィコを失った日本人パフォーマーK（42歳）は以前のようにシンバルを使ったパフォーマンスが出来ないでいた。初夏のある午後、Kは公演に使う板ガラスを買うためパリ13区にあるガラス店を訪れる。そこでKは日本人の女主人 朝子（35歳）に出会う。何故かほろ酔いの朝子。それからは劇場にて。ぜひ皆様のご来場をお待ちしています。

*CFとは一つのプロジェクトのために一般の方々に募金を募るシステム。今回は上映のためのCFで目標額は175万円、8月末迄です。

<https://motion-gallery.net/projects/susabicharscreenjip>
 【すさび】CF（岩名記）



日本のお母さんを代表する女優加藤治子

死期を迎えつつある母へ

母よ、お母さん、 ありがとう

東京都荒川区 大下 芳幸

私はこう題字を書いただけでも涙が流れてきた。涙で文字盤が見えなくなってしまう。私の母は今高齢で病氣と闘っている。いや、病魔は母の体内深く侵入し誰の目にもそう永くはないと分かる。腕は老木のように細く傷跡が随所に見える。体も骨ばかりでそつと動かさないと折れてしまいうまいそうで、もはや35キロも無い。裸の姿は見るに耐えないのは母自身が良く知っていた。

る。そう、死に顔が顕れているようにもみえる。後は苦しみ痛みを和らげることしかない。あれほどオムツを嫌がっていたのに今は抵抗無く替えてもらっている。さすがに替えてもらうときにはアツチへいけとの顔をする。そして母自身ももう死にたいと言いつつ、殺してくれと私に迫る。もう、簡単な話しかできない。あんなに聡明でしっかり者の母の姿はもうそこにはない。人の命は、母の命は尽きるものと分かっている。覚悟をしても自然と涙が湧いてくる。もう、言葉を交わすことも、心を通わすこともできなくなった母。食べ物も喉をとることもできなくなった母。でもまだ母は生き続けている。命をちぢめることも永らえることも私にはできない。苦しいとか哀しいとかの感情よりもただ時を待つ思いだ。明日かも来週かも来月かも知れない。もしかしたら来年まで持つだろうか？そんな状態で生きていて何が楽しいのか？

**1日でも1時間でも1分でも
永く生きていてほしい。**

走馬灯のように母との想い

出が蘇る。そこには元気なすっかりした母がいる。もうそんな母の笑顔は永遠に還ってこない。人の世の定めとはいえ悲しい別れが待っている。一刻とまぢがいなく近寄ってきている。泣こうが叫ぼうが無慈悲にその瞬間が迫っている。せめて母への感謝の気持ちを記しておきたい。涙でキーが濡れる。構わない。母を亡くすことはそれほど悲しいことだから。

そう、無条件で私を慈しんでくれた母。正に陰になり日向になりして私を見守ってくれた母。私が今日あるのはお母さんのお陰です。どれだけ感謝しても、言葉を口にしても足りません。誰よりも私のことを理解してくれて、私の生き方にも関心を示し、応援してくれて、庇ってくれたお母さん。私の人生の折々に母が顔を現わす。幼稚園で華厳の滝をバックに母と私。私の恋人のことを心配して無断で彼女宅を訪問した母。大学の卒業式に付き添いに上京した母。盲腸で苦しんでいた私を救急車に訴えた母。仕事で苦しんでいる時にも助け舟をだしてくれた母。もういい歳に

なっても損得なしの思いを注いでくれた母。私は母と殆どいさかいをしたことがない。激しく叱られたこともない。特にお利巧ぶろうとしたことではないつもりだが。ご機嫌を取ろうとしたこともないが、他の兄弟が嫉妬する関係だったかも知れない。でも、母は他の子にもまぢがいもなく等しく愛情を注いでいたことを私は知っている。

人間界に限らず動物界においても女親が我が子に対する愛ほど深いものはない。男親の私には計り知れないほどだろう。十月十日体内で赤ちゃんを守り育むのだから。こんなに永く安全なお腹の中で育てるのだから母子の絆は太いものである。これだけ永くお母さんの胎内で過ごす動物も他にはいないだろう。出産後も大人になるのに人間ほど手間暇がかかる生物は知らない。それほど人のお母さんの子供に対して限らない愛情を注いでいるわけだ。残念ながら父親はとてども母親にかなうものではない。お母さん、ありがとうございました。

1990年代半ばにベトナムに行った時、ベトナム戦争後の20年経過した時点でも、見つけた地雷を爆破する音がたまに聞こえてくる状況でした。

日本でも空襲による爆弾投下での不発弾がたまに見つかり、自分の国でも戦争による民衆の犠牲を想像することが出来ます。

ベトナム戦争では、アメリカのモンサント社が作った枯

種子を守ることは、命を守ること

長野県佐久市 信州のロザリアン

れ薬剤というダイオキシンも含んだ猛毒の薬物化学兵器が使用されました。アメリカの目的はジャングルに隠れているベトナム兵士を見つけ易くする為と、農地に猛毒を撒いて食料にダメージを与える事の2つだったそうです。ホーチミン市の戦争証跡博物館では、枯れ薬剤の影響で生まれた奇形児のホルマリン漬けが

展示されておりましたが、その光景は残酷すぎて正視できず、展示室から逃げ出した自分がいきました。枯れ薬剤での2身1体の結合双生児のベトちゃんドクちゃんは、その後日本人医師団の手術を受けて、各々の人生を踏み出しました。

戦争の産物の除草剤

『ラウンドアップ』

アメリカが戦争から撤退し

が栽培してきた種が交配してしまつた種子を使うと、著作権侵害になるとしてモンサント社は、各地で訴訟を起こしているそうです。カナダの農家が、求めているない遺伝子組み換え作物に汚染されたのに、逆に農家に対して特許権侵害で告訴し、その種を使用したと言いがかりをつけて賠償金を会社を支払うように脅迫したのです。農家は泣き寝



不耕起栽培の大豆の発芽 (筆者撮影)



伝統野菜のムクナ豆 (筆者撮影)

入りせずに裁判を起こして、6年間も闘い勝訴したそうです。グリホサートはガンや不妊、神経をやられて自閉症になるなどの関連性が指摘されて、フランス、オランダ、ロシアなどでは使用禁止されてるそうです。



元農林水産大臣・弁護士 山田正彦氏 (筆者撮影)

今年2月に元農林水産大臣で弁護士の山田正彦さんの講演会『種子法が危ない』を聞いて愕然としました。種子法とは米・麦・大豆の主要農作物を安定供給する為に優良な種子の生産や普及を国や県が責任をもって育成し、維持すると定めた法律です。それが2017年の春に自民公明の多数で種子法廃止を閣議決定し、今年の春に廃止されたそうです。その特許権を民間企業に渡せば品種登録して、農民が自家採取出来なくなり、毎年新たに種子を購入しなければならず、種子の価格は4〜10倍になるそうです。農家は

特許料の義務が生じて負担が増え、それは消費者への負担増になるわけです。

モンサント社は1999年には日本のコシヒカリで除草剤耐性、ラウンドアップの遺伝子組み換え種子を開発し、茨城県の実験圃場で試験栽培を開始しているそうです。日本は農業自給率が37%で、生命維持、食料維持の種子を守るどころか、安倍首相は100%アメリカと共にあると国益を自ら放棄して、国を滅亡に向わせています。

巨大企業は石油エネルギーで儲けてきた流れから、石油の枯渇の後の儲け方を考えて種子を制するものは世界を制すると、この分野にシフトしています。

今年から狭い畑での野菜作りで雑草の生命力の強さに辟易していますが、土を汚染する除草剤と化学肥料は使わなると決めて、地表15センチまでのバクテリアやミミズの自然の持つパワーを守り育成する不耕起栽培を友人から学び始め、少しだけ実践開始です。



著作集 (晶文社)・世界文学全集25 (集英社)

ポール・ニザン (Paul Nizan)

—青年達と同世代で
あり続ける思想家—

市川 隼(鎌倉市在住)



ポール・ニザン(角川文庫)

同時代者(contemporary)と同世代者(same generation)という言葉がある。前者は10年単位、或は20年単位、もう少し幅が広がるかもしれない。後者は5年位の幅だろうか。その感じ方も生きた時代によつて異なるのかも知れない。同年齢で、ニザンの友人でもあったジャン・ポール・サルトルは、ニザンについて、「最後までノンと言いつけた男ニザン。昨日、彼は我々と同時代者だった。だが今日は、青年達の同世代者だ」と記している。サルトルに加え、シモーヌ・ド・ポワヴォール、1935年パリで開かれた反ファシズムの「文化擁護国際作家会議」に参加したアンドレ・ジイド、アンドレ・マルロー、ハインリッヒ・マン、ベルトルト・ブレヒト、ボリス・パステルナークや、成功を祈つてメッセージを送った、ロマン・ローラン、トーマス・マン、魯迅達

はニザンの同時代者であり、ニザンの同世代者は、ニザンの思想に共鳴する、名もなき青年達やこれから生を受けて青年達になる人々なのだと、サルトルが云いたいのだろう。

ニザンは仏トゥールで1905年に生まれ、仏オードリユイクで1940年に35歳で死んだ。社会改革を志向した思想家であり、そして、小説家でもあった。人は彼を、革命家とも呼んだ。『アントワヌ・ブロワイエ』、『トロイの木馬』、『陰謀』の三作の小説、『アデン・アラビア』、『番犬たち』、『古代の唯物論者たち』、『九月のクロニクル』等の評論集が、若者達に読まれ、マルローが『王道』で1930年(第一回)に受賞したアンテラリエ賞を、1938年に、『陰謀』で受賞した。ニザンが生まれ育ったトゥールは農村で、ニザンの先祖は農民であり、共和派に抗し、革命時処刑された人々の側に属していたが、祖父は下級鉄道員となり、父は、鉄道技師として昇進し、ブルジョワジーの仲間入りを果たす。サルトルが、『陰謀』と共に、「最も美しく抒情的な

弔辞である」と評価しているのが『アントワヌ・ブロワイエ』だが、奨学金で高等工芸学校に進み、鉄道技師として成功し、上級社会に入りながら失墜し、失意の内に死んで行く父の姿を描いている。

ニザン自身は、11歳でアンリ四世校の寄宿生となり、ルイ大王校へ転校し、19歳の時、高等師範学校へサルトルと共に入学し、1932年にはアグレガシオン(一般教員資格+哲学)にサルトルやポワヴォールと共に合格する。優秀な学生として評価され、ハ順風満帆な学生生活を過ごす事になったが、ニザンが視圏を拡大させた、1920年代から40年代にかけて、欧州の社会は風雲急を告げ、ヒットラーが躍進し、ファシズムが黒雲を棚引かせた。細やかな光りを与えていたソビエトも、スターリンが台頭し覇権を握り、暗黒社会へと突き進み、若者達に大波が押し寄せた時代でもあった。ニザンは1926年にアデンで、家庭教師として一年過ごし、帰国後結婚し、共産党へ入党する。ヒットラーの勢いは増し、フランスへの侵攻は時間

の問題だった。女性の識字率の向上や、乳児死亡率からソビエトの社会の崩壊を予見した社会学者エマニュエル・トッドはニザンの孫だが、祖父のニザンの若き時代は、ソビエトとの狭間で人々が呻吟させられた時代だった。仏共産党は、仏とソビエトが手を握り、ヒットラーと抗すべきとの主張を展開し、その中心にニザンがいたが、1939年8月23日の独ソ不可侵条約の締結や9月17日のソビエトのポーランドへの侵攻は、ニザンの夢を無残にも打ち砕き、ニザンは離党し、共産党と袂を分かつ事になった。

仏は英国と連携し、9月1日に独軍に宣戦布告を行い、第二次世界大戦が開始されるが、このような激動期に、ニザンやサルトル達は青年期を過ごした。ニザンは9月に応召に応じ、1940年5月23日、ダンケルクに向かう途中、独軍の砲撃に会い、戦死する。「僕は20歳だった。それが人の一生で一番美しい年齢などと誰にも言わせはしない」との『アデン アラビア』の冒頭の言葉は、幾世代の青年達の心に、響き続けている様だ。

新潟県知事選挙を 振り返って

衆議院議員 菊田まきこ (無所属)

無名の候補者が
互角に闘った

池田ちかこさんと私の2人
だけで行った5月6日の記者
会見から始まった県知事選



池田ちか子演説会



立候補表明の記者会見。
県民の選択が全国の注目を集めた

挙。「池田ちかこ」って誰？
当初は、そんな声しか聞こえ
てこなかった池田さんが、
たった1ヶ月で50万人を超え
る県民から名前を書いていた
だけの候補者へと駆け上がり
ました。しかし、結果は敗

北。無念でまだショックから
立ち直れない状態ですが、新
潟県初の女性知事誕生のた
め、官邸や自民党、公明党と
いう巨大な軍艦に屈すること
なく、互角の戦いをしたこと
は私たちにあって、大きな財
産です。

新潟県の新しいリーダーを
選ぶと同時に国政と絡み、安
倍政権の継続か終止符を打つ
のが、新潟県民の選択に全国
が注目した選挙。その軌跡を
振り返ってみたいと思います。

そもそも自公が官邸主導で
花角氏の候補擁立を着々と進
めている中で、我々野党側
は一部の議員らから相乗りで
もやむを得ないとの声が聞こ
えていました。そのような状
況で県議1期目の池田さんを
口説き、立候補表明に至るま
では、事を慎重に進める必
要がありました。記者会見は
野党各党や友好団体、これま
で応援いただいていた方々へ
の根回しをしないサプライズ
であったため、私は多くの関
係者からお叱りと批判を受け
ました。

それでも皆さんがそれぞ
れの思いを飲み込んで、会見か
ら4日後の12日、池田ちかこ

さんを支援する野党各党、市
民団体の皆さんが一堂に会
し、初めての会議を開き、私
は選挙対策本部長として、選
挙の陣頭指揮を取ることにな
りました。

主婦の小泉元総理への 手紙が講演会を実現させた

24日の告示日までに、やら
なければならぬことは山積
でした。公約づくりからビ
ラ・ポスターなど印刷物の作
成、各地域で開催される集会
での挨拶、マスコミ対応等に
加え、国会も開会中でしたか
ら、ほぼ毎日新潟と東京を往
復、時間がいくらあっても足
りない日が続きました。

告示前に一つの大きなイベ



辻元立憲民主党国対委員長もかけつけて氣勢があがった

ントがありました。告示日前
日23日に魚沼市で開催された
小泉純一郎元総理による講演
会です。この講演会は、原発
のない未来を願う一人の主婦
が小泉さんに講演に来てほし
いと書いた一通の手紙から実
現した講演会です。この講演
会で今回の選挙の行方を大き
く左右するであろう、あるし
かけを行うために私は動きま
した。主催者の方と水面下で
連絡を取り合い、事前に情報
が漏れると潰される可能性も
十分あったため、密かに、そ
して慎重に事を進めました。
当日、池田さんと私は会場の
最前列で講演を聞き、講演終
了後、小泉元総理にお会い
し、激励の言葉と握手までし
ていただきました。その姿
は、新聞、テレビなどでも報
じられ、小泉元総理が野党候
補の池田さんを応援している
というイメージを創ることに
成功しました。

自民・公明が原発再稼働で 争点隠しの戦術

5月24日、告示日を迎えま
した。ここまで紆余曲折があ
りましたが、倒すべき相手は



小泉元首相も激励した

巨大な安倍自民党の一念のもとに、立憲民主党、国民民主党、無所属の会、日本共産党、自由党、社会民主党の野党5党・1会派が池田さんの推薦を決め、加えて市民の皆さんとも連携した共闘による選挙戦をスタートすることができました。

他方、自民党・公明党が事実上の選挙運動を展開する相手陣営は、徹底して政党色を抑える戦略で、選挙期間中に東京から新潟入りした自民党議員約150名の多くは、企業・団体、商店街等、自民党支持層の業界団体への挨拶まわりに終始しました。さらには大きな争点であった柏崎刈羽原発再稼働についても、慎重姿勢を示すことによって、

県民に違いが分からなくするなど巧妙に争点を隠しました。その他、選挙違反ではなにかと思われするような文章や街宣車が見られ、ネットで誹謗中傷のデマを流すなど、そのなりふりかまわないやり方には激しい憤りを覚えました。が、今となっては、それぐらいの執念がないと権力は取れないのかもしれない。

盛り上がるも今一歩及ばず 残念3万7000票に泣く

選挙も中盤から終盤へと進むにつれ、池田さんの演説はますます熱のこもったものとなり、比例するように街の反応も良くなっていきました。野党の国会議員も続々と新潟入りし、ついには6月2日、野党代表が勢ぞろいし、街頭演説を開催することができました。選挙での5党・1会派の代表による共同演説は初めてのことであり、歴史的な場を作ることができました。

今回の県知事選では、池田さんに勝ってほしいと願う市民のボランティアがたくさん駆けつけてくれました。驚いたことに新潟県民だけでな

く、全国から電話かけやピラ折リ、ポスティングのために事務所までお越しいただきました。自宅から電話かけをしてくれた全国のボランティアもたくさんいらっしゃいました。また、池田さんのお嬢さんが東京から応援に入り、母の思いを叶えて欲しいと切々と訴える姿が多くの県民の心に響き、最終盤は大変な盛り上がりを感じました。

選挙戦最終日、新潟駅万代口での最後の街頭演説会には、池田さんを応援する人がイメージカラーのオレンジ色のグッズを持って道路を埋め尽くしました。勝利への熱気に包まれたなかで、マイクを持った私も鳥肌が立つほど感動しました。1ヶ月でよくここまでたどり着けた。池田ちかこという無名の候補者が諦めることなく闘い続け、そのひたむきな姿、力強い演説が県民に届いたのだと確信できるとても素晴らしいフィナーレとなりました。

池田さんがいただいた票は、50万9568票。相手候補にわずか3万7000票余り足りず、敗れました。力及ばず大変申し訳なく思っています

が、何よりも勇敢に立ち上がってくれた池田ちかこさんに感謝の気持ちでいっぱいです。そして最後まで共に闘ってくれた全ての皆様に心から感謝を申し上げたいと思います。

県民の7割超えは 原発再稼働反対——

新知事は公約を無視できない

今回の選挙で見えてきた反省点もたくさんあります。多



街頭演説に多くの人が聞き入った

くは語れませんが、野党5党・1会派に市民団体、連合新潟も加わり、与党に対して戦う共闘の枠組みはできましたが、政策や戦術が必ずしも一致せず、組織間の調整に時間やエネルギーを奪われた戦いでした。来年の統一地方選、参院選と大きな選挙が立て続けにありますが、圧倒的に強い野党がない現状で巨大与党に勝つためには、あの政党は嫌だ、あの人と並ぶのは嫌だといった様々なあつれきを乗り越え、真の信頼関係、人間関係をつくって、力を合わせていかなければ難しいのではないかと思っています。

今回の知事選を通じて原発再稼働に反対する県民の意識は7割に増えました。そういう意味では与党が推す候補にも、県民の納得がなければ、原発を動かさないとまで踏み込んだ発言をさせた意味は大きいと思います。知事には官邸の言いなりになるのではなく、選挙の公約をしっかりと果たしていただきたいと願うとともに、私たち新潟県民は、今後の知事の行動をしっかり注視していかなければなりません。

野党の要 立憲民主党国会対策委員長

辻元清美衆議員に聞く

自民党内でも政界でも安倍1強と言われて久しく苦々しく思っている人も多いことでしょうが、巨大与党に対峙するには野党の結束が重要だがそれには野党第一党の国会対策委員長の果たす役割は大きい。移動中をつかまえて苦勞話を聞いてみました。

編集部 数年前から辻元さんはテレビに出る場面が少なく思っていたら最近をよく記者に囲まれていますね？

辻元 民進党時代は役員室長や幹事長代行として裏方をしていましたからね。国対委員長も「黒衣」として舞台回しをする立場なのですが、安倍政権の問題がつきつきやってくるため、記者に発言を求められる機会が多いのです。

編 国対委員長って具体的にどんな仕事ですか？

辻元 国会運営に関わる全ての責任者です。国会では代表や幹事長よりも権限がある部分があります。それに野党第一党というのは野党全体の国



会運営の司令塔を担うのです。
編 じゃ、具体的にはどんな仕事ですか？

辻元 立憲野党の意見をまとめつつ自民党の国対委員長と朝な夕なに交渉して、国会運営を決めていきます。党内には誰がどのタイミングで、どんな質問をするかも決めたりすることもあります。

編 立憲民主党の方針でなく野党の方針をも聞かれるから答えにくいこともあるでしょうね？

辻元 自分の党のことは言っても他党のことは言えませんが、記者は遠慮なく聞いてくることもあります。だから他の野党とこまめに意見交換し、信頼関係を築く努力をしています。

自民党内から隠す、嘘つく、改ざん、Jマカすを追及する良識が欲しいですね

編 昨年ごまかし答弁をつき通した佐川局長を国民が齒がゆい思いで見ているなら、麻生財務相はごほうびに国税庁長官に出世させた。

その彼を改ざん問題で参事考人招致しても「刑事訴追云々」で逃げとおす。

挙句に彼は改ざんの中心人物と認定されても不起訴処分。昭恵夫人隠しと分かっていても財務省は認めない。麻生大臣も責任を取らない。これでは国民が納得できないです。ところで、野党合同ヒアリングは新しい国会のあり方として評価されていますね。

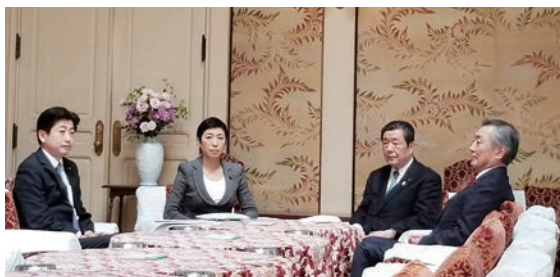
辻元 ただでさえ少ない討議時間なのに与党は野党の質問時間を削ってくるし、安倍首相は言葉とは裏腹に丁寧にも

真摯にも答えられないし、官僚まで隠す、答えられない、嘘つく、ごまかす、改ざんするからいくら時間があっても足りません。そこで編み出した方法のひとつです。とくに、少数野党にとっては貴重な場になっていると思います。

編 しかし安倍総理も、麻生財務大臣も、ますます居直っているように見えます。

野党の追及もものたりない。怒りの気持ち小さく、お聞かせ下さい——て調子の議員さんもある。かつての社会党なら全員で追及、攻め立てていたように思います。

辻元 一部メディアは「野党の追及が弱いから」という一



与野党国会対策委員長会議、左から山内康一・立憲民主党国対委員長代理、辻元清美・立憲民主党国対委員長、森山裕・自由民主党国対委員長、松本純・自由民主党国対委員長代理

方で、「いつまでモリカケをやっているのか」といいます。でも、私たちがあきらめず追及し続けてきたからこそ、真実がわかってきたと思います。私は自民党の問題が大きいと思っています。ここまで隠べいや改ざんが重ねられて立法院が危機を迎えている状況に与党も野党もないのに、安倍総理が怖くて批判がほとんど出てこない。自民党はすっかり変わってしまいました。いまは立憲野党と与党の数が違い過ぎるため、国会のたたかいだけでは倒せないのが現実です。メディアや市民活動など、院内外とどれだけ共闘できるかが重要です。

編 それに辻元さんも安倍さんから嫌われて……自分で質問したくなりませんか？

辻元 ウズウズしているんですがね。でも若い議員はほとんど力をつけていますし、女性議員たちもいい質疑をしていると思います。私は国会の「黒子」として、野党全体が力をつけていくためにこれからも走り回ります。

編 今日はどうもありがとうございました。頑張ってください。

四段目左端が筆者の塚越さんたちが独自に作成し、配布しているリーフレットです

憲法と改憲を考えるシリーズ5 わからないまま憲法改正国民投票をしようのか

鎌倉市 塚越 敏雄

国民は、憲法9条自衛隊明記に、賛成？ 反対？

「憲法9条に自衛隊を書き加える憲法改正をする」安倍首相が、その宣言（17年5月）して以来、一部では憲法9条の改憲論議が盛んになってきている。一般の国民は「憲法に自衛隊を書き加える」改憲案をどう考えているのだろうか。今年4月に実施した世論調査によると、次のようになっている。

新聞等	賛成	反対	その他
読売	55%	42%	3%
共同	68%	29%	3%
毎日	27%	31%	42%
朝日	32%	63%	5%

自衛隊明記に読売・共同は賛成が多数。それに対し毎日・朝日は反対の方が多い（朝日は9条改正賛否の質問）「わからない」という選択を入れた毎日では、それを選んだ人が一番多い。「迷うが、深く考えなければ賛成（反対）かな」と思っているのが国民の感覚かもしれない。

憲法に明記する自衛隊のイメージは？

では、国民がイメージしている自衛隊とはどんな存在なのだろう。それを考える上で参考になるのが内閣府が行った世論調査（18年1月）である。これによれば、自衛隊に「よい印象を持っている」と答えている人は約9割である。また、自衛隊に期待する役割は、

「災害派遣約80%」
「周辺海空域の安全確保約61%」

それに対し、「国際平和協力活動への取り組み」は約35%に留まっている。多くの国民が持っている自衛隊のイメージは、「災害復旧のため献身的に働き、万一他国から攻撃される事態になれば国民を護ってくれるであろう自衛隊」なのである。そのため、「自衛隊が憲法違反だとされたら可哀想でしよう」などと言われると「憲法に自衛隊を書くことくらい、いいかな」と思ってしまう。

変化していく自衛隊

安保法制成立（15年9月）

前までの政府見解は、「日本が武力攻撃されたときだけは武力を使えるが、それ以外で他国を攻撃しない」（専守防衛）というものだった。これが「平和日本」として、他国からの信頼にもなっていた。ところが、安保法制によって、「日本が攻撃されていないくても、アメリカなどの求めに応じ海外に出かけ、日本も他国を武力攻撃できる」（一定の条件で集団的自衛権行使可能）と、解釈を180度変えてしまった。これによって、自衛隊が武力行使に加わればどうなるだろう。相手国からは、「攻撃してこない我が国を攻めるひどい国」に見えるのではないだろうか。相手国から反撃の対象にされ、戦争になる恐れも出てくる。相手国で働いて（活動して）いる日本人や旅行者が危険にさらされることも起こるだろう。

必要がある。国民が後で気づいても、その時では取り返しのつかない事態になっていることが考えられるからだ。

何のための自衛隊明記？

安保法制では集団的自衛権を行使できるようにした。だが、「憲法9条違反」という声は国民の中に強い。それを解消し、合憲化するのが「憲法への自衛隊明記」ではないだろうか。自民党の加憲案の要点は次の通りである。

- ・ 国や国民の安全を保つため、自衛の措置がとれる。
- ・ 自衛のための実力組織として総理大臣を最高指揮者とする自衛隊を保持する。

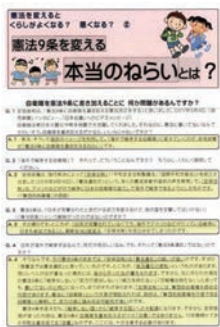
自衛隊加憲案では「自衛」に制限をつけていない。政府が「国や国民の安全を保つため」という目的をかかげれば、他国（アメリカなど）防衛の「集団的自衛権」を使い

敵国を攻撃できるようになる。「戦争はしない」「武力行使はしない」「戦力を持たない」「交戦権は認めない」とする現憲法原則の、否定である。

国民投票で改憲されたら日本は、どう変わるの？

- ① アメリカが海外で戦争するたびに一緒に戦うように求められ、断れなくなる。
- ② 戦闘により自衛隊員が殺される。
- ③ 自衛隊員が派遣先の国民を殺し、海外の人から恨まれ狙われることも起こる。
- ④ 外国からの報復やテロが起こる可能性が高まる。
- ⑤ 国民に必要な保育・介護・医療などより軍事予算が増大し、暮らしが苦しくなる。
- ⑥ 軍事優先の国になり、表現の自由など国民の権利が制限されるようになる。等々

更に、国民投票法はテレビCMの規制がないため豊富な資金を持つ側が有利。また、有権者の4分の1の賛成でも成立する（最低投票率の定めがない）などの問題点がある。



（私たちが作ったリーフレット）



周りからみたら画面を見て微笑む変な人(貴方もそうかも)

右も左もSNS中毒(貴方は大丈夫?)



若者のSNS化

千葉県 大山 桜

最近、インスタグラム・ツイッター・フェイスブックという言葉をよく耳にする。テレビでもインスタ映えのカフェであったりレストランが取り上げられたりしている。最近では若者の間では、ペアーズやティンダーといった出会い系のアプリも流行している。一昔前であればネット上の出会いなどは危ない、危険と言われていたのに対して、今では何のためらいもなくネット上で友達や恋人を探す時代になった。

なぜ、そうした現象が起きているのか。大きな理由はスマートフォンの普及によるものだろう。人の憧れの指標がモノを所有することよりもコトを所有していることも大きな要因であろう。具体例を出す、自分が持っているモノに満足するよりも、持っているという事実を他人に評価されて初めて価値が出てくる。インスタグラムのイイネの数であったり、フォロワーの数であったりだ。今の若者は目に見える他人からの評価に対してとても敏感である。根本

として人は「誰かに必要とされること」で自分の存在意義を確立する。そういう意味ではこの、若者のSNS依存は納得がいく。がしかし、SNS上の自分は果たして本当の自分なのだろうか。私は、最近SNSを利用していない。昔は仕事の愚痴であったり、家族の悩み事を呟いたりしていたが、今ではSNS上で反応されることに対して、違和感を感じるのだ。そもそも自分の悩みは面と面で信頼する人に話すものであり、そこで相談して初めて人と人との間に信頼関係が成り立つ。今の若者は平気で自分のことを他人にさらけ出し、自分の言っていることは正しいと自己肯定したいがためにイイネを集める。昔みたいに手紙交換をするという文化は薄れていき、簡単に消せる文字が流行している。そうなるも今後、若者の責任感はどこにいくのだろうか。インスタグラムの中でも最近流行りだしたものはストーリーという1日で消えてしまう動画をあげるという行為だが、私はとても疑問

を感じる。なぜ消えてしまうモノをあげる必要があるのか。ネット上のコミュニケーションが本人の奥ゆかしさであったり、責任感であったりが薄れていく感じがして他ならない。そうなってしまったら今後、科学が発展していったら人間は必要なくなっていくってしまうのではないか。SNSは遠くの人とのコミュニケーションの手助けとしては役立ついるかもしれないが、手軽さ故に人から物事を深く考える能力を奪っていくのではないか。これからの時代はおそらく更に若者のSNS依存度は高まっていくであろう。何が正解かはわからないが、自分の意思をしっかりと持って、自分を高めるためにSNSを使えるようになってほしい物である。成人になった時に携帯がないと生きていけない。社会人になった際に会社に自分の意見が言えないという若者が沢山いるように私は警鐘を鳴らしていきたいと思っている。

手軽さが深く考える能力を奪っていくのでは

過ぎゆくものたち 時と共に町も人も変わった

三枝のんじ

わが家に戻って2ヶ月がたった。古巣である阪急沿線の小都市も時代の波に洗われ20年の歳月によって人も町も変わってしまった。

1976年に分譲された私のマンションは日頃の管理がよく外観上、問題はないが、40軒ほどの住民の顔ぶれが変わり私も含め皆が高齢化した。希望いっぱい引越してきた20代後半の頃、子どもたちは廊下を走り回り、地域も賑わっていた。しかし今は

「成熟後の静けさ」、悪く言えば「活気のない」雰囲気。

町は、各地が直面している「過疎」と「高齢化」の様相を呈している。近くにあるスーパーは繁盛していたが、今その面影はない。壁のクロスは破れ放題。割れた窓ガラスにテープを貼って凌いでおり、雨天には雨漏りを受けるバケツがいくつも並ぶ。閑古鳥の鳴く店だから敢えて手を入れないのか、あまりといえはあんまりで栄華を誇ったか

つての偉容は、うらぶれたたずまいで滑稽さと悲哀を漂わせている。経営悪化を風の噂で知っていたが、こんなカタチで凋落ぶりを露呈しているとは。

ウォーキング中に出くわした朝6時の風景。男性ばかり15、6人の高齢者がこのスーパーの開店を待っていた。一人暮らしの人が多くなったせいか、20年前には見かけなかった男性の買物姿が当たり前になった。大勢の顧客が押し寄せるもう1軒の大手スーパーのコーヒーショップでは、朝から高齢の男性たちがズラリと席を陣取っている。退職後の男性が全日制市民となって地域に戻ったが、彼らの手持無沙汰を解消するよりどころとなっているのだろうか。

大阪の賑わいが好きだった

一方、これと対照的なのが6月まで住んでいた大阪市北区の天神橋六丁目界隈。病院、介護施設など社会資源が豊富で、市民にとっては安心感がある。戦火を逃れた路地を覗けば長屋が今も連なり、お年寄りが数多く住んでい

る。ある時、自転車の若者がおばあさんにおつかつた。おばあさんはひっくり返り、通りかかった一見やくざ風、こわもての男性が逃げようとす

る若者を捕まえ「こらー、ちゃんと謝らんかい。ここは歩道や。自転車は遠慮してゆっくり行かんかい」と本気で怒鳴っている。いいところあるやん、人情の町。困っている人を見たら放っておかない、おせっかいな人が町のそこそこにいる。ホンネで生きる町は時に煩わしいこともあるが人懐っこく、やさしい。喧嘩極まりない町の中で、若者の活気だけが目立つのは落着かないものだが、お年寄りの存在が町にホッとすするいいバランスを醸し出している。とりわけ面白いのは天神橋筋商店街。顔見世の花道のごとく「どや」といわんばかりに、自己主張丸出しのファッションで闊歩する人もいる。一瞬驚いても、「ま、ええんちゃう？ それぞれの自由やもん」の包容力で違和感なく、雑多で人の思惑など気にしないごった煮の大らかさがいい。そして選挙になれば必ずやってくるのが候補者だ。庶

民の味方づらした演説も、当選すればどこ吹く風のどんでん返し。商店街はそんな芝居小屋の花道でもある。最近の政治家は平気でウソをつく輩が多い。この花道を行く姿を見たら「カラー、ウソついたらあかんぞ」とゲキを飛ばしてやりましょう。

こうした懐かしい町の記憶があるから古巣との落差を一層感じるわけだが、実際には目の前に六甲連山の東端が迫り、目を転じれば中山連峰の山並みも。山々の谷筋のひだまでくつきりと陰影濃く浮かびあがらせる緑の多彩さと自然の美しさに心慰められることも多い。

一言。高齢になつての引越しは無謀だどつくづく分かった。気力も体力もないから2ヶ月を経た今も家の中は混沌。友人は「ごみ屋敷ちゃうかと人は思うで」と手厳しい。かなりのものを捨てたが、70年間せつせと貯め続けたモノが家の容量を凌駕して私の自由を奪っている。もともとと断捨離だ。最後の転機に、これからの時間を身の丈大に自分らしく生きると決めた。



大阪府北区扇町公園の夜桜も乙なもの

平和を作る ひとこまの記憶



「お月様と帰る道」

それは少し寒い夜。
空は濃紺一色。

田舎の空は低い。
手を伸ばせばつかめるので

はないかというくらい低い空にたくさんの星。月。そしてその時刻には白い煙のような雲も見えた。

若かった母は、待ち望んだ初孫を嬉しそうに背におぶい、私はそれを支えるようにゆっくり、ゆっくり歩いて帰途についていた。

母の背を信頼しきって頭をつけていた娘が不意に頭をもたげて言った。

「どうしておちゆきさま（月）はいつまでも私たちの後をついてくるの？」

母は笑って言った。

「田舎の道は暗いからね。おばあちゃん達が無事におうちまで帰れるように、明るく照らしてついてきてくれるのよ。」

すると娘は大きな声で空に向かって叫んだ。

「おちゆきさま（月）、ありがと。もうすぐお家に着くから、おちゆきさまもお家に帰りなしゃい。

暗くなったら、危ないよ。早くお家に帰りなしゃい。」
いつも娘自身が言われているフレーズだった。

私たちが娘に言っている何気無いフレーズ。

だけど娘がお月さまにかけたフレーズの、なんて思いやりに満ちた、優しい響きに聞こえたことか。

まだ2歳にもならない幼児でも、優しさや思いやりはちゃんと伝わっている。学んでいる。だからこそ、大切に育てなければ。

小さい時こそ、おざなりにせず、情緒を豊かに育ててあげることが平和を育てること。

母と私はなんだか幸せな気持ちに満たされて、ニコニコ顔を見合わせながら、うなづいた想いを、今ふと思い出した。

30年経って私は昔、母がおぶった子のその子（孫）を背におぶってしみじみとした。

かつて、母におぶわれた娘はおばあちゃんの思いを確かにかけて、愛情豊かに育てた。そして今小さな子供の保育と、ご老人の憩いの場を一緒にした施設の事についている。

現代は外に出て働くお母さん達が当たり前になった。

そして、お年寄りに住む家族も少なくなった。

若いお母さん達は仕事と子育てに追われ、だんだんと心の教育をじっくり与える余裕がなくなる。

お年を重ねた方々の知恵と、育て上げた経験は、確かに子育てにとっても役に立つ。

施設の年配者から、子供達は、お手玉、けん玉など日本の伝統の遊び、人としての温かさ、思いやりを学ぶことができる。

だからこそ、年配者と幼子と一緒に過ごす場所はとても素晴らしい教育の場所になると思える。

そして、時代が変わったから、考え方も柔軟にして、他のお子さん、お年寄りも互いに暖かく交わることで、強い心、正しい道を教われれば、きちんと平和な世の中が作れる気がしている。

横浜市

（画柳会代表） 中田恭子

化粧

東京都 前島 咲子

先日、地下鉄で新宿3丁目まで出かけた。久しぶりの新宿で私にしては長時間の乗車だ。平日の昼過ぎなので車内は空いていて、向かいの席に座っている20代らしき女性に目が留まった。

光沢のある黒いコートを着て、薄いページジュの細いパン



ツ。組んだ足に、きらきら光る飾りが付いたピンヒールを履いている。彼女の意識は顔の前にかざした手鏡に集中し、ほかの乗客は視野の外のようにだ。

手鏡を頼りに、彼女は化粧に没頭していた。バッグの中からパフを取り出してファンデーションを顔全体にうすく

塗り、その後、ファンデーションの色をさまざまに替えて鼻筋や目元、頬、額などを塗った。そして、鏡の位置をちよつとずらして、出来上がりを確かめた。

それから、眉を描いた。電車は揺れたり止まったりするのに、見事に左右対称に描いた。さらに、小さなパッケージを取り出し、中からひよいとつけまつげをつまみあげ、入念に左右の瞼に貼り付けた。最後に淡い色の口紅を塗って、彼女はようやく正面に座っている私を見た。凛々しいとさえ思える、若い女性の生き生きとした顔がそこにあった。

そのひとは、私と同じ新宿3丁目以降降った。背筋をピンと伸ばして大股で軽やかに歩き、私を追い越してやがて見えなくなつた。その間違でしなやかな動きは、私の目にもぶしく映つた。入念な化粧は、「社会」という闘いの場に身を投じるための武装だったのだと、私は何となく納得した。

Life Crossing

余録

毎号裏表紙を飾る増山麗奈さんからこんな話を寄せていただきました。52号にピースセンターを作りたいと夢を書いたら、以前からの埼玉県の支援者がそれを読んで増山さんに場所の提供の申し出があつて、増山麗奈平和ミュージアム所沢がマンションの一

編集後記

今年も天も地も大荒れ、地震・水害、それに熱中症で死者多数。一方、トランプという妖怪が世界の秩序を食い荒している。

さて、今号は災害、北朝鮮の核・拉致問題と、各人各様の記事がいろいろ。中でも中田恭子さんの記事は親殺し、子殺しの荒れた世にホノボノ

階にオープンしました。埼玉県所沢市和ヶ原1-3031-70です。090-9133-6430(斉藤)テレビのレギュラー番組の撮影も行っています。クロッシングが取った縁でしょうかね。本人はどう思っているかは知りませんが、自由奔放に生き、世界各国を飛び回り八面六臂の活躍をする増山さんの絵を見れる施設が京都の北野天満宮の近くにもできました。あわたまKYOTO 京都市上京区下横町207-1です。ここでは増山監督の映画を上映したり、ラジオの収録をしています。また、増山さんが編集委員をしている月刊

とした一編の詩だった。虐待死した船戸結愛ちゃん(5)のノートに書いた言葉が報道されたのを記憶されてる方も多いだらう、「もうパパとママにいわれなくてもしつかりとじぶんから、きょうよりかもっともつと、あしたからはできるよにするから、もうおねがい ゆるしてゆるしてください お願ひします」が胸をつく。哀れである。愛される子、愛されぬ子らの運

タイムスは政界、財界、官界、マスコミ界の各界に通じる執筆者が健筆をふるっている。有名書店かFAX03-5269-8460でどうぞ。同じ映画監督の岩名雅記氏は本人も認めるそろそろ引退しても良い73歳だが、ソロ舞踏で培った表現者の道を貫くべく第四作《シヤルロットすさび》を10月東京新宿K'sシネマで上映。皆さんの支援が広がれば関西・四国での上映も目論んでいるとか。分かりやすい増山映画と異なり本人曰くエロ+芸術臭が高い作品で、観客の胸に突きつける映画です。感覚の明晰な人も鈍な人も是非脚を運んで下さい。

命の差が悲しい。●増山麗奈さんのエネルギーシユな活動にびつくり。自ら絵を描き各国で映画祭やアート展を開くとか●映画といえは毎号ピリツと明快哲な記事でおなじみの舞踏家・岩名雅記さんが今回、4作目の「シヤルロットすさび」を日本で10月から上映とか。中味は見てのお楽しみ。そこで皆さん！夏の暑さにも負けずにがんばってネ。

前回クロッシングに「地球上9つのピースセンターを作りたい！」と書いたら、早速所沢に物件を所有している方から、「アートの平和を作るビジョンに共感した！増山麗奈の絵を常設する基地を作ろう」とご提案をいただき、ほんとにピースセンターができ



「バレエダンサーの水野永子さんの企画でインドネシアのプキバトゥ村の寺院でライブペイントと平和を願う祈りの舞の公演に参加しました。筆者は前列右から二人目。写真背景の絵は増山麗奈作」

語っちゃおうかしら♪それは「日本文化を海外に発信して、観光を活性化し、みんなが経済的に潤う！」というビジョンです。2017年の観光客は2869万1000人で過去最多ですが、各地方までその実感を感じられないのではないのでしょうか。日本の

日本文化海外発信で みんなが潤う楽園を作ろう！

東京都日野市 増山 麗奈

ちゃいました（驚）！クロッシングは、夢を実現する媒体ですね！編集部、読者の皆さんに感謝しています。ありがとうございます。

エンターテイメントもチャンネルを生かしていません。CDやダウンロード販売は、15年前に比べ約半分。勢いのある新人、老若男女だれもが知る国民的歌手もいなくなりましたよ。

たよね。

映画の世界ではカンヌ映画祭で是枝監督が「万引き家族」がパルムドール賞を受賞しました。しかし「万引き家族」で描かれているのは本来政府に守られるべき人々が貧困に苦しみ、血縁ではない家族で支えあいながら、犯罪で生きる悲しい日本の姿でありました。映画界でも、ヒット作を生み出している監督さんやスタッフさんも年収200万円とか、低収入で必死にプライドを守っています。伝統芸能の世界も同じ。能や狂言・歌舞伎や日本刺繍、どのジャンルも力のある新人が育っていません。今年の台湾で、東京最後の日本刺繍伝道師でおられる有田美津子先生の作品を地震のチャリティ支援販売をした時、何も言えない気持ちになりました。本来は国家が守るべき文化を何で増山麗奈が守ってるんだって。目の前の宝物を放置して：何が愛国心だ！このままじゃ、ほんとに日本文化は干上がっちゃうよ！

芸術不況を変え、
日本を元気にしたい。

急増する外国人旅行者に並行して、世界中数千か所、アニメや日本のコスプレ文化を楽しむ数千人〜数十万人規模の日本博が行われていきます。江戸時代の浮世絵や明治工製品の「ちっちゃー！」「細か！」「超絶技術、岡倉天心が伝えた。華美ではないが自然に敬意を持つ。茶の心が、19・20世紀の西洋人の度肝を抜いたことが現在まで続く日本人の根底にあります。

海外の日本好きフェア市場の潜在能力に、まだ日本の大手芸能会社も音楽会社も気が付いていません。現地ですは、地元の方々が多く、また、10年ほど前はどのフェアでも日本のCDが陳列していましたが、現在はその陳列にはK-POPが並んでいきます。韓国政府は、国家戦略として、大きな展示会や映画祭に国家の予算で監督を派遣し文化を発信しているのです。日本音楽低迷の理由の一つはジャスラックによる著作権の厳しい締め付けです。テレビ番組をネットにアップロードしたら50万円以下、一年以上の禁固刑などばかばかしいルールのせいで、日本POP

S好きのファンは、youtubeで日本のスターを見つける機会を失い、心が離れてしまうのです。

海外で日本文化を発信して、国内外に多くの笑顔を届けたい！そんな思いで、今までロシアや台湾と映画祭を開催してきました。7月には24万人を集めるフランスのパリで開催される日本エキスポで1万4千人のステージで着物ファッションショー「RefashionCaravan」さんのステージに参加させてください。パリでは、地域の観光情報なども載せた雑誌（私が編集委員をしている月刊タイムスフランス号外）も配布します。パリジェンヌの心をわしづかみにして、新しい雇用や観光の流れを作ります！9月はロシア、11月は台湾、キューバ、ロンドンからも映画祭やアート展の声がかかっています。海外の映画・アートとともに発信で自社情報の広報をされたい、企業様絶賛募集中です！一緒に世界を楽園にしちゃう仲間になってください！

（映画監督・画家）